



鳥獣被害対策に水土里情報を活用した事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネットかながわ、神奈川県、南足柄市

取組概要

内容: 県西部に多い鳥獣被害の調査と対策の検討に当たり、水土里情報システム・GPSモバイルを利用し、継続的な取組を開始。

- 経緯:
- ①南足柄市など県西部では、サル、イノシシ、シカ等による農作物の被害が多発。
 - ②鳥獣被害は広域にまたがるケースが多いため、神奈川県県西地域県政総合センターが主導し、平成24年度に広域的・効果的な対策の検討を開始。
 - ③現在、水土里情報システムに入力された鳥獣被害のデータを関係機関が共有し、GPSモバイルも活用しながら、現場での調査と対策の検討が行われているところ。

現地調査

The screenshot shows the '水土里 MapsViewer' application. The main map displays bird damage data points for H21-H23, H24, and H21-H23. A legend indicates: H21~H23 イノシシ (yellow), H24 イノシシ (red), H21~H23 シカ (yellow), and H24 シカ (red). A detailed data entry window is open, showing the following information:

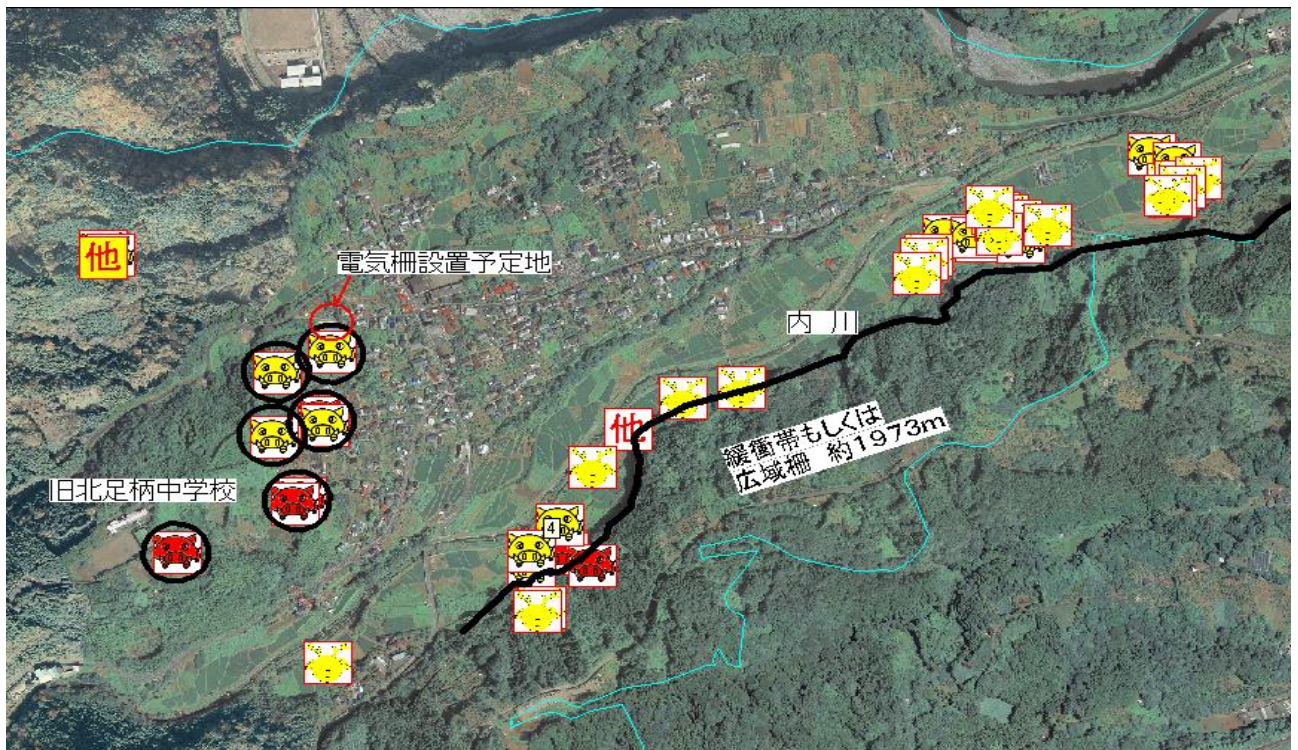
属性項目	値
字	
地番	2346-9
圃場の種類	田
耕作状況	耕作有
被害作物	稲
獣害の種類	イノシシ
被害状況	食害
被害率	中(40%)
柵の有無	無
柵の管理状況	
ワナの有無	無
獣の足跡	無
周辺状況	ぬた場
調査日	2012/10/18
備考	

Buttons at the bottom of the window include '更新' (Update) and '閉じる' (Close). The status bar at the bottom shows coordinates, the current map layer '1H24鳥獣被害調査_H24イノシシ選択', and a selection count of '1選択'.

期待される効果

- ① 加害鳥獣や被害作物の種類、位置、面積、周辺状況等を継続的に把握することにより、広域的な対策の検討が可能。
- ② 関係機関が被害情報を共有し、各種対策案を総合的に調整することにより、効果的な取組が可能。

『被害状況調査に基づく対策』(一案)



今後の活用予定

鳥獣被害対策の広域的かつ効果的な取組を進めるため、システムを利用したより広域的な状況の把握・共有・検討と試験研究機関への情報提供等に活用する予定。

■お問い合わせ先

神奈川県土地改良事業団体連合会 業務部 事業課	046-231-3242
神奈川県県西地域県政総合センター地域農政推進課	0465-32-8000
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)	03-6744-2212(直通)